

矢野造船(株)の事業基盤強化計画(抜粋)

企業概要

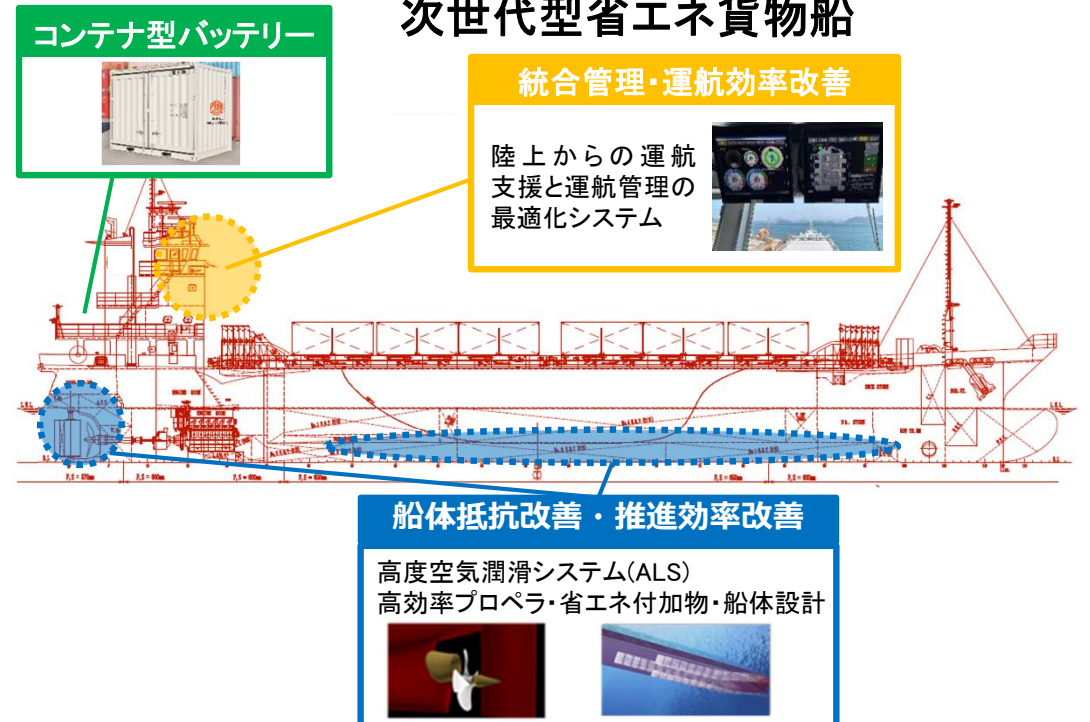
- 昭和28年の創業以来、貨物船の建造に特化。287G/T型・294G/T型・499G/T型など各種船型で水槽試験を行い、省エネ船型を開発。
- 船主の希望に添った船になるよう綿密な打合せのもと、より良い船舶の建造を追求。
- 新造船を年間約10隻ペースで建造し、安定した生産体制を維持。



計画の概要

- 各種省エネ船型をはじめ、これまで培ってきたノウハウを活かすとともに、甲板機器の電動化やバッテリーの搭載により、省エネ・CO₂削減と船員の労働環境改善を図り、新たな顧客ニーズに寄り添う次世代型省エネ貨物船を開発する。
- クラウドベースの工程管理や図面と仕様書の共有で、作業手順の標準化・作業工程の可視化を行うと同時に品質管理体制の強化を図る。
- 工程管理を全社で共有することで、時代の変化に合わせて変わりゆく顧客ニーズへの対応力と、顧客満足度の更なる向上を目指す。

省エネ・CO₂削減と労働環境改善を両立する次世代型省エネ貨物船



<計画実施期間> 2024年1月～2028年8月

<実施場所> 矢野造船(株) 本社工場(愛媛県今治市)、テクノ波方工場(愛媛県今治市)